



データあり
令和2年2月17日

市政記者クラブ 様

東山総合公園
担当 動物園 白木、江口
電話 782-2114

南アフリカ共和国からサーバルが来園しました

令和元年12月21日に南アフリカ共和国から来園した、サーバル2頭（オス1頭、メス1頭）を下記のとおり一般公開する予定ですので、お知らせします。

記

1 来園したサーバル

愛称	ルイ	アイ
性別	オス	メス
年齢	2歳（2017年11月7日生）	2歳（2018年1月30日生）

2 公開日時

令和2年2月22日（土）午前10時

※2頭同時に公開予定ですが、動物の体調等により予定どおり公開できないことがあります。

3 公開場所

動物園本園 食肉小獣舎

4 飼育係長によるトーク

公開日である2月22日は、猫の日実行委員会が1987年に制定した「猫の日」です。猫の日とサーバルの公開に合わせ、飼育係長による「食肉小獣舎のネコ科動物のお話」を午前10時から食肉小獣舎前で実施します。

5 取材について

動物の撮影は一般公開日までできません。

【参 考】

■ サーバルについて

- サハラ砂漠以南のアフリカの草原に生息し、沼沢地や川のそばを好む。基本的に夜行性だが、日中も狩を行うことがある。
- 優れた視力と聴力があり、足が速く木登りも得意で、主にげっ歯類やトカゲなどに跳びかかって捕食するが、時折、草や果実も採食することがある。
- 子ヒョウの毛皮と偽って毛皮が売られることがあり、密猟の犠牲となって数が減った。
- 1年中繁殖し、1回につき2～4匹の子供を産む。妊娠期間は66～77日。子供は1歳半から2歳で独立する。寿命は野生下で10～12年、飼育下では13～20年。
- サーバルはスペイン語で「獵犬」を意味する。

【写 真】



ルイ（オス）



アイ（メス）

【案内図】

